

区連会 資料 2-3

区連会 10 月定例会説明資料
令和 6 年 10 月 18 日
みどり環境局
戦略企画課
財政局 税務課

横浜みどりアップ計画[2019-2023] 5 か年の 実績報告について【情報提供】

1 事業の趣旨

横浜みどりアップ計画につきましては、2009 年度から、横浜みどり税を財源の一部として活用させていただきながら、緑の保全・創出に向けた様々な事業・取組を推進しています。

また、2024 年 4 月からは 4 期目となる新たな 5 か年計画[2024-2028]に取り組んでいます。

このたび、2019 年度から 2023 年度までの 5 か年を振り返り、取組の成果をまとめたリーフレットを作成しましたのでご報告いたします。

2 お願いしたいこと

【区連長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3 配布資料

- (1) 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 5 か年の実績概要リーフレット
- (2) 5 か年[2019 年度～2023 年度]の区別実績
- (3) 「横浜みどり税」の説明チラシ

【問合せ】

横浜みどりアップ計画の広報に関すること

みどり環境局戦略企画課 TEL:671-2712 FAX:550-4093

横浜みどり税に関すること

財政局税務課 TEL:671-2253 FAX:641-2775

効果的な広報の展開

みどりに関するイベントへの出展や、「広報よこはま」等への記事掲載、SNSなど様々な手法を用いて、幅広い年齢層にみどりアップ計画の取組と成果を知っていただけるよう広報を展開しました。



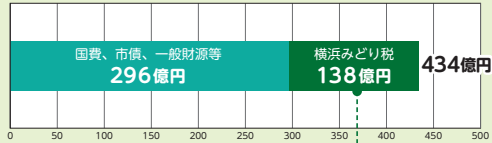
イベントでの広報



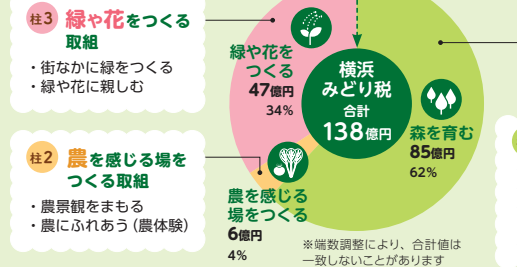
広報よこはま 令和6年3月号

計画の事業費と横浜みどり税(5か年の累計)

5か年(2019~2023年度)の事業費 (うち横浜みどり税)



計画の柱ごとの横浜みどり税活用額



緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、2019年度からの5か年の事業費434億円のうち、横浜みどり税を138億円充当し、市内の樹林地の買取り・維持管理等をはじめとした緑の保全・創出、育成に取り組みました。

横浜みどり税の課税方式

- 【個人】市民税の均等割に年間900円上乗せ
※所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方を除く
- 【法人】市民税の年間均等割額の9%相当額を上乗せ



- #### 柱1 森を育む取組
- ・森を残す(指定・買取り)
 - ・森を育む(維持管理など)
 - ・森を育む人材の育成(活動に対する支援)
 - ・森に親しむ(きっかけづくり)

横浜みどりアップ計画 市民推進会議の活動

横浜みどりアップ計画市民推進会議は、公募市民や学識経験者などから構成されている附属機関です。横浜みどりアップ計画の取組の検証や、現地調査を行い、評価・提案を報告書にまとめたほか、広報誌「YokohamaみどりアップAction」を9号発行しました。



Yokohama
みどりアップ
Action



詳しくはHPを
ご覧ください

実績報告書はHPをご覧ください。
区ごとの実績もご覧いただけます。



横浜みどりアップ計画 検索

お問合せ

「横浜みどりアップ計画」の広報について
みどり環境局戦略企画課

TEL 045-671-2712 FAX 045-550-4093

「横浜みどり税」について
【個人市民税】各区区役所税務課または財政局税務課
【法人市民税】財政局法人課税課

TEL 045-671-2253 FAX 045-641-2775
TEL 045-671-4481 FAX 045-210-0481

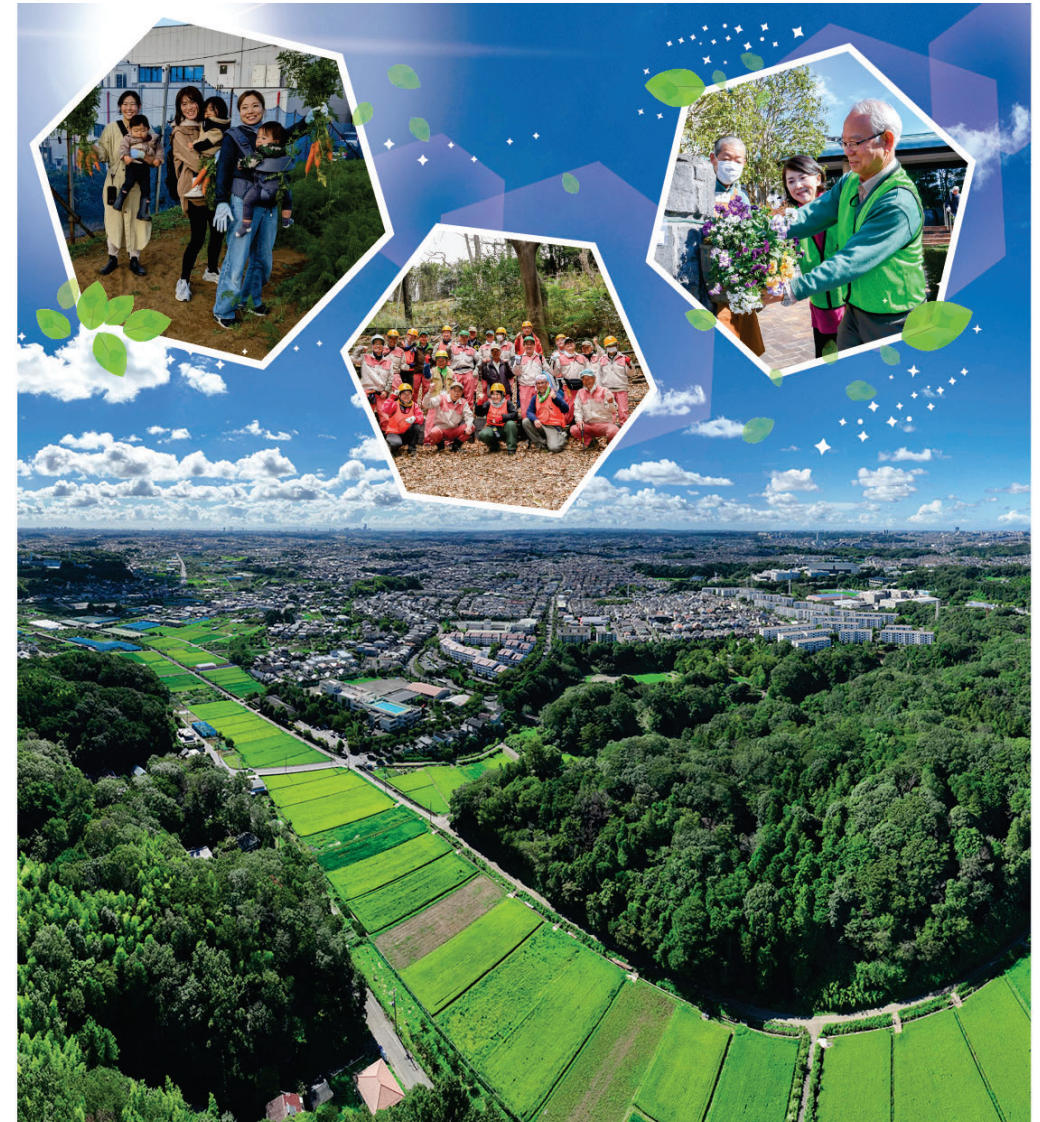


横浜みどりアップ 葉っぱー

令和6年10月発行 横浜市みどり環境局戦略企画課

横浜みどりアップ計画 [2019-2023]

5か年の実績 概要(2019年度~2023年度の実績)



青葉区寺家町

緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を財源の一部として活用しながら、「横浜みどりアップ計画[2019-2023]」を実施しました。

このリーフレットは、2019~2023年度に実施した事業の実績を概要としてまとめています。



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷



計画の柱1

市民とともに次世代につなぐ森を育む

樹林地の保全が進んでいます

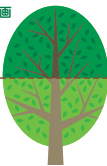
5か年で176.9ha、計画開始以降15年間で新たに1,082.5haの樹林地を緑地保全制度により指定しました。計画開始前は40年間で861.9ha指定しており、3倍以上のスピードで保全が進みました。

これまでのみどりアップ計画
(2009~2018年度)

10年間 **905.6ha**

みどりアップ計画以前
(1969~2008年度)

40年間 **861.9ha**



2019~2023年度

176.9ha

= 1,082.5ha

▶ 緑地保全制度による新規指定 **176.9ha**

▶ 市による買取り **75.6ha**



下瀬谷特別緑地保全地区/瀬谷区

森に親しむための機会が広がっています

森に親しむことができるように、市民の森などを整備したほか、ガイドマップの作成や子ども向けのイベントを開催しました。

▶ 保全した樹林地の整備 **381か所**

▶ 市内大学や関係団体と連携したイベント、
区主催による森でのイベント **382回**



間伐材を活用したクラフト教室/
鶴見区



森の中のプレイパーク/
南図書館/南区

樹林地の維持管理や安全の確保を 市民協働で進めています

樹林地を良好かつ安全に維持管理するとともに、樹林地所有者に対しての維持管理費用の助成を行いました。

▶ 森の維持管理 **樹林地811か所、公園196か所**

▶ 維持管理の助成 **688件**



保全管理計画や森づくりガイドラ
インを活用した維持管理/泉区



樹林地所有者に対する維持管理支援
作業前後/旭区



計画の柱2

市民が身近に農を感じる場をつくる

良好な農景観を保全しています

市内の水田面積の約9割を保全し、農地縁辺部の草刈りや植栽等、周辺環境と調和した良好な農景観を維持・形成しました。

▶ 水田保全面積 **111.1ha**



水田の保全/青葉区



土砂流出防止対策/都筑区

農とふれあう場や機会が増えています

気軽に農体験ができる収穫体験農園や、自分で考えた栽培プランで自由に野菜づくりを楽しむことができる認定市民菜園など、市民ニーズに合わせた農園の開設を進めるとともに、市民が農について学ぶイベントや講座を実施しました。

▶ 様々なニーズに合わせた農園の開設 **19.8ha**

▶ 横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施 **422回**



収穫体験農園/神奈川区



認定市民菜園/磯子区

地産地消が拡大しています

市民が身近なところで地産地消を実感できるよう、直売所・青空市等を支援しました。

▶ 直売所・青空市等の支援 **262件**



みなとみらい農家朝市/西区



柴シーサイド恵みの里直売所/金沢区



計画の柱3

市民が実感できる緑や花をつくる

緑と花の空間づくりを進めています

公共施設や保育園など、市民の身近な場所で実感できる緑を創出・育成しました。

▶ 公共施設・公有地での緑の創出 **39か所**

▶ 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出 **203か所**



横浜子ども科学館/磯子区



保育園での緑の創出/港北区

緑や花で街の賑わいづくりを創出しています

多くの市民が集まる都心部等の公共空間などで、緑や花により街の魅力を向上させ、賑わいづくりを推進しました。

▶ 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくりと
維持管理 **71か所**



横浜児童遊園地/保土ヶ谷区



山下公園/中区

市民や企業の皆さんと緑と花の取組を 全区で進めています

地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、実現していくための「地域緑のまちづくり」を推進しました。オープンガーデンなどの市民が緑や花に親しむ取組を各区で推進しました。

▶ 地域緑のまちづくり **23地区**

▶ 緑や花を身近に感じる各区の取組 **18区で推進**



地域の花いっぱいにつながる取組/
港南区



緑や花を身近に感じる各区の取組/
栄区

市民の森

～計画開始以降16か所の市民の森が開園～

横浜市では1971年に全国に先駆けて、緑地を保存しながら、その緑地を散策や憩いの場として公開する「市民の森」制度を創設しました。「市民の森」は計画開始前の27か所から16か所増え、現在43か所を公開しています。

～ボランティアの皆さんによる良好な森づくり～

市民の森では、愛護会や森づくり活動団体など、ボランティアの皆さんが、草刈り、間伐、生きもの調査や環境教育といった「森づくり活動」を行っています。



池辺市民の森/都筑区

「横浜みどりアップ計画 [2019 - 2023]」 計画期間に開園した4か所の市民の森



長津田市民の森/緑区
2020年4月1日開園
クヌギやコナラを主とした広葉樹林が残り、コケラやエナガ、シジュウカラなどの様々な鳥が生息しています。



市沢市民の森/旭区
2021年4月1日開園
緑陰や水辺の風景を楽しむながら散策ができるほか、ホテルや鳥類などを観察することができます。



名瀬・上矢部市民の森/戸塚区
2022年3月28日開園
コナラなどの広葉樹林からなる雑木林で、山裾沿いには竹林がみられ、昔ながらの里山の自然景観を楽しむことができます。



今井・境木市民の森/保土ヶ谷区
2022年4月1日開園
クヌギやコナラなどの広葉樹林と、スギやヒノキなどの針葉樹林が広がり、尾根道を歩くことで四季折々の緑の風景を楽しむことができます。

よこはまの緑を 未来を担う 子どもたちのために

暮らしを支え、豊かにする緑を未来に残すために、
横浜市は、市民・事業者の皆様「横浜みどり税」をご負担いただき、
緑をまもり、つくり、育む「横浜みどりアップ計画」を進めています。



横浜みどり税について

横浜みどり税の
税額

個人市民税均等割に年間 **900円** を上乗せ

※法人の場合は、年間均等割額の9%相当額を上乗せ

※課税年度は、令和10年度までです。



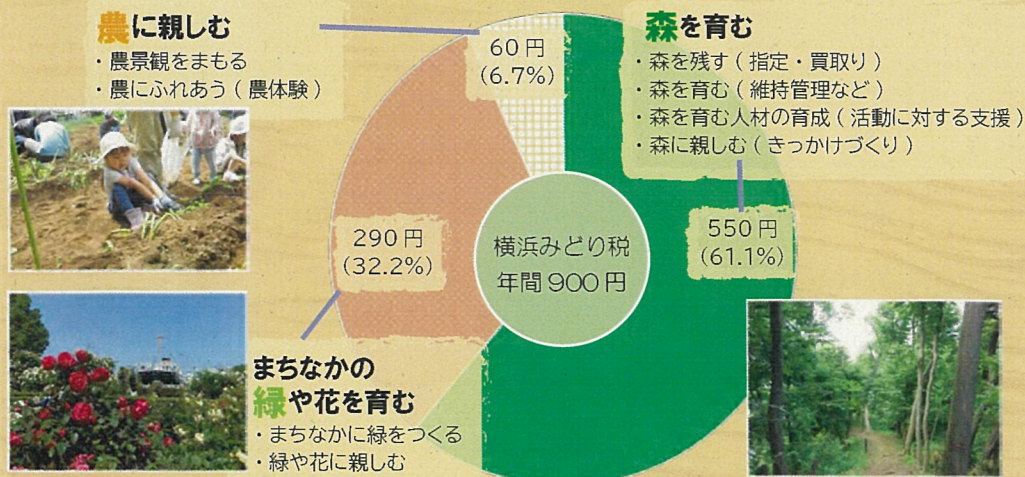
横浜みどりアップ 葉っぱー

横浜みどり税の
使途

「横浜みどりアップ計画」のうち、下記の横浜みどり税の使途に該当する事業へ横浜みどり税を充当します。

- ・樹林地・農地の確実な担保
- ・身近な緑化の推進
- ・維持管理の充実によるみどりの質の向上
- ・ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

横浜みどり税（年間900円）の使いみち



横浜みどりアップ計画 [2024-2028]

横浜みどりアップ計画



計画の理念

みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜

5か年の目標

- ・緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します
- ・地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます
- ・市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します



みどり税を活用した取組

市民とともに
次世代につなぐ**森**を育む

5か年の主な取組

- 樹林地の新規指定と買入れ申し出への対応
- 指定樹林地への維持管理支援
- 森に親しむきっかけづくり

市民が身近に
農を感じる場をつくる

5か年の主な取組

- 水田保全への支援
- 農園の開設など、農とふれあう機会の全市的な展開

市民が実感できる
緑や花をつくる

5か年の主な取組

- まちなかでの緑の創出や街路樹等による景観づくり
- 地域での緑や花の取組支援
- 子どもを育む空間での緑の創出・育成

市民・事業者の皆様が取組の意義や成果、緑がもたらす効果をわかりやすく伝えることで、取組への共感と、緑のある暮らしの実感につながる**広報**を展開



森林環境税（国税）と横浜みどり税

Q 国の森林環境税と横浜みどり税はどう違うの？



A 目的と使いみちが異なります。

森林環境税は、林業が成り立たない地方の山間部の森林整備や、国産木材の利用促進を主な目的として創設されました。横浜市では、木材利用の促進を図るため、学校施設や公園などの市民利用施設の木材利用工事に活用しています。

横浜みどり税は、市内の緑の保全・創造を目的としたものであり、樹林地の買い取りや、まちなかでの緑の創出などに活用しています。森林環境税と横浜みどり税は、趣旨と使いみちが異なります。

● 森林環境税（国税）・森林環境譲与税について

| | |
|---------|--|
| 趣旨（目的） | わが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るための地方財源を安定的に確保するため |
| 課税手法・税率 | 年間1,000円を個人住民税と併せて賦課徴収 |
| 課税期間 | 令和6年度から |
| 市町村への譲与 | 国が令和元年度から一定の基準で譲与（令和5年度までは、地方公共団体金融機関の準備金を活用） |
| 使いみち | 間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用 |

※このほか、神奈川県では、水源環境保全・再生のために、個人県民税に対する超過課税を実施しています。

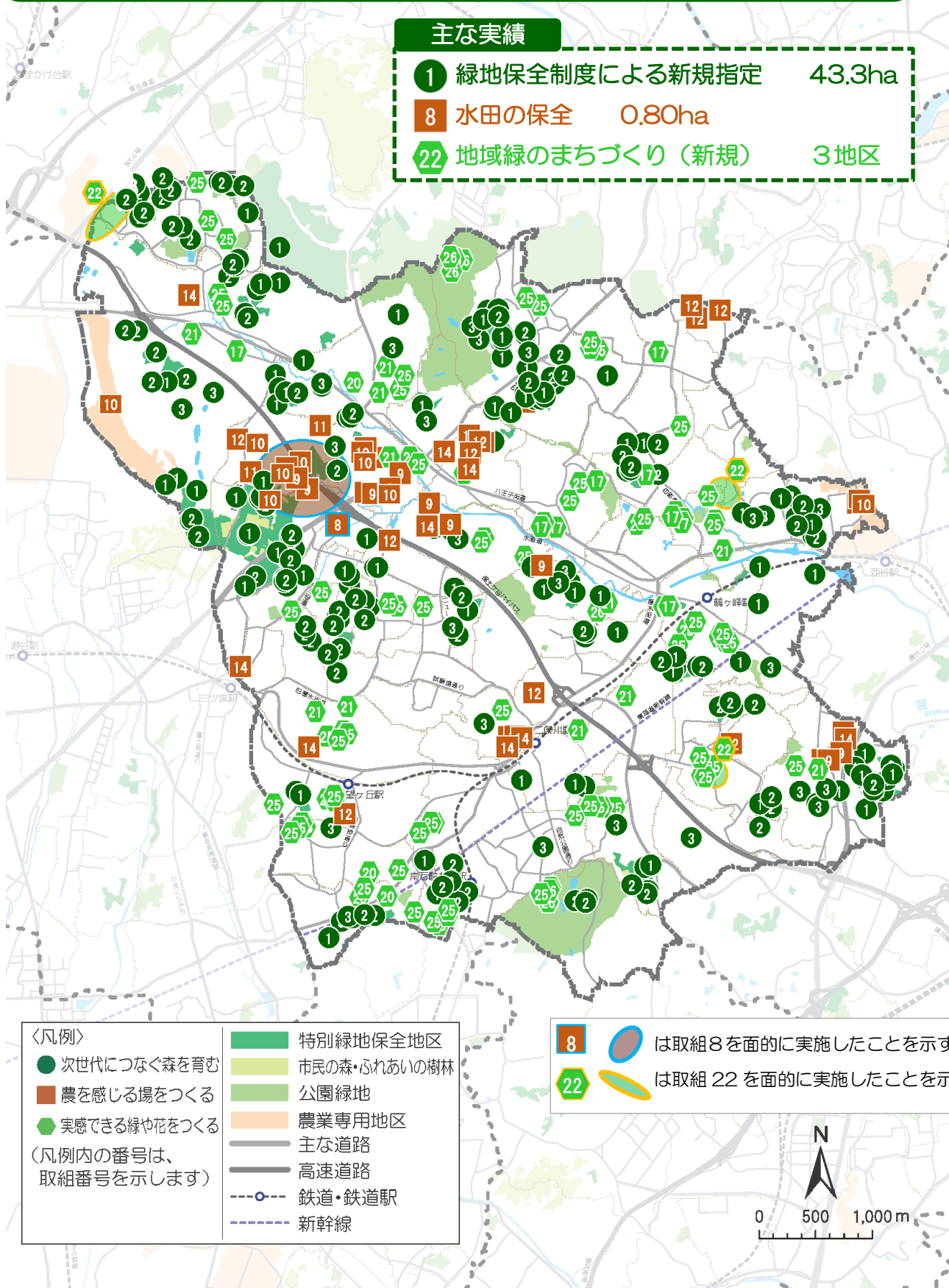
【お問い合わせ】

- 「横浜みどり税」について
▶ 区役所税務課 または 財政局税務課 電話：045-671-2253 FAX：045-641-2775
- 「横浜みどりアップ計画[2024-2028]」について
▶ みどり環境局戦略企画課 電話：045-671-4214 FAX：045-550-4093

旭区

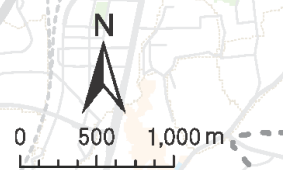
主な実績

- ① 緑地保全制度による新規指定 43.3ha
- ⑧ 水田の保全 0.80ha
- ②② 地域緑のまちづくり（新規） 3地区



- | | |
|---|---|
| <p>〈凡例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 次世代につなぐ森を育む ■ 農を感じる場をつくる ◆ 実感できる緑や花をつくる <p>（凡例内の番号は、 取組番号を示します）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ■ 特別緑地保全地区 ■ 市民の森・ふれあいの樹林 ■ 公園緑地 ■ 農業専用地区 — 主な道路 — 高速道路 — 鉄道・鉄道駅 — 新幹線 |
|---|---|

- ⑧ は取組8を面的に実施したことを示す
- ②② は取組22を面的に実施したことを示す



計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 43.3ha

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 17.1ha 今宿西町特別緑地保全地区、市沢町特別緑地保全地区（指定拡大）、追分特別緑地保全地区（指定拡大）、上白根町小池特別緑地保全地区（指定拡大）、白根五丁目特別緑地保全地区

2020年度 0.5ha 上白根町後谷特別緑地保全地区（指定拡大）

2021年度 4.8ha 上白根町小池特別緑地保全地区（指定拡大）、川井本町特別緑地保全地区（指定拡大）、中希望が丘特別緑地保全地区

2022年度 0.3ha 上白根町小池特別緑地保全地区（指定拡大）

2023年度 0.4ha さちが丘特別緑地保全地区

・市民の森等

2019年度 1.2ha （仮称）市沢市民の森（指定拡大）、追分市民の森（指定拡大）

2023年度 0.2ha 追分市民の森（指定拡大）

・緑地保存地区

2020年度 0.8ha 今宿町、今宿二丁目、白根二丁目、中希望が丘

2021年度 0.2ha 川島町

2022年度 0.2ha 今川町

2023年度 0.2ha 白根五丁目

・源流の森保存地区

2019年度 2.0ha 上川井町、上白根町、川島町、西川島町

2020年度 2.5ha 今川町、今宿一丁目、上川井町、上白根町、川井本町

2021年度 10.1ha 今川町、上白根町、川井宿町、善部町

2022年度 1.9ha 今川町、上川井町、川井宿町

・その他

2019年度 0.4ha 市沢町緑地

2021年度 0.3ha 今宿1号緑地、今宿7号緑地

2022年度 0.2ha 今宿3号緑地

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 5地区 市沢町特別緑地保全地区、今川町特別緑地保全地区、川島町二ノ沢特別緑地保全地区、上川井町露木谷特別緑地保全地区、上白根町後谷特別緑地保全地区

2020年度 4地区 市沢町特別緑地保全地区、追分特別緑地保全地区、上川井町露木谷特別緑地保全地区、上白根町小池特別緑地保全地区

2021年度 2地区 市沢町特別緑地保全地区、追分特別緑地保全地区

2022年度 2地区 市沢町特別緑地保全地区、川井本町特別緑地保全地区

2023年度 5地区 市沢町特別緑地保全地区、上川井町中田谷特別緑地保全地区、上白根町後谷特別緑地保全地区、上白根町小池特別緑地保全地区、中希望が丘特別緑地保全地区

・市民の森等

2021年度 2地区 追分市民の森、南本宿市民の森

・公園樹林部

2019年度 1地区 南本宿公園

2020年度 2地区 四季美台ふれあい公園、南本宿公園

○保全した樹林地の整備 50か所

2019年度 11か所 上川井町堂谷特別緑地保全地区、下川井町特別緑地保全地区、都岡町特別緑地保全地区、中沢二丁目特別緑地保全地区、三保特別緑地保全地区（旭区内）、（仮称）市沢市民の森、追分市民の森、柏町市民の森（2か所）、白根ふれあいの樹林、上白根二丁目緑地

2020年度 9か所 今川町特別緑地保全地区、上川井町堂谷特別緑地保全地区、上白根町小池特別緑地保全地区、川井本町特別緑地保全地区、鶴ヶ峰二丁目特別緑地保全地区、中沢二丁目特別緑地保全地区、市沢市民の森、柏町市民の森、白根ふれあいの樹林

2021年度 6か所 上白根町後谷特別緑地保全地区、上白根町小池特別緑地保全地区、川井本町特別緑地保全地区、川島町二ノ沢特別緑地保全地区、市沢市民の森、猪子山緑地

2022年度 11か所 今川町特別緑地保全地区、上白根町後谷特別緑地保全地区、上白根町小池特別緑地保全地区、川井本町特別緑地保全地区、川島町二ノ沢特別緑地保全地区、市沢市民の森、今宿市民の森、追分市民の森、柏町市民の森、南本宿市民の森、白根ふれあいの樹林

2023年度 13か所 上白根後谷特別緑地保全地区、市沢市民の森、矢指市民の森、市沢ふれあいの樹林（2か所）、鶴ヶ峰ふれあいの樹林、猪子山緑地、笹野台三丁目緑地、若葉台一丁目緑地、今川町特別緑地保全地区、上白根町後谷特別緑地保全地区、川井本町特別緑地保全地区、今宿町市有緑地

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 150 か所

・保全管理計画の策定（樹林地）

2019年度 1 か所 柏町市民の森

2021年度 2 か所 上川井市民の森、鶴ヶ峰ふれあいの樹林

・維持管理（樹林地）

2019年度 19 か所 猪子山特別緑地保全地区、川井特別緑地保全地区、川島町二ノ沢特別緑地保全地区、今宿市民の森、追分市民の森、柏町市民の森、南本宿市民の森、矢指市民の森、市沢ふれあいの樹林、白根ふれあいの樹林、鶴ヶ峰ふれあいの樹林、猪子山緑地、今宿第二緑地、上白根南の森、笹野台緑地、笹野台三丁目緑地、二俣川ニュータウン緑地、若葉台一丁目緑地、若葉台四丁目緑地

2020年度 22 か所 上川井町中田谷特別緑地保全地区、上川井町堀谷特別緑地保全地区、上白根町小池特別緑地保全地区、川島町二ノ沢特別緑地保全地区、善部町特別緑地保全地区、今宿市民の森、追分市民の森、柏町市民の森、上川井市民の森、南本宿市民の森、矢指市民の森、市沢ふれあいの樹林、白根ふれあいの樹林、鶴ヶ峰ふれあいの樹林、猪子山緑地、今宿第二緑地、上白根南の森、笹野台緑地、笹野台三丁目緑地、二俣川ニュータウン緑地、若葉台一丁目緑地、若葉台四丁目緑地

2021年度 25 か所 猪子山特別緑地保全地区、上川井町中田谷特別緑地保全地区、上川井町堀谷特別緑地保全地区、上白根町小池特別緑地保全地区、川井町特別緑地保全地区、川島町二ノ沢特別緑地保全地区、善部町特別緑地保全地区、中沢二丁目特別緑地保全地区、市沢市民の森、今宿市民の森、追分市民の森、柏町市民の森、上川井市民の森、南本宿市民の森、矢指市民の森、市沢ふれあいの樹林、白根ふれあいの樹林、鶴ヶ峰ふれあいの樹林、今宿第二緑地、上白根南の森、笹野台緑地、笹野台三丁目緑地、二俣川ニュータウン緑地、若葉台一丁目緑地、若葉台四丁目緑地

2022年度 28 か所 猪子山特別緑地保全地区、上川井町堂谷特別緑地保全地区、上川井町中田谷特別緑地保全地区、上白根町小池特別緑地保全地区、川井特別緑地保全地区、川井本町特別緑地保全地区、川島町二ノ沢特別緑地保全地区、下川井町特別緑地保全地区、善部町特別緑地保全地区、中沢二丁目特別緑地保全地区、市沢市民の森、今宿市民の森、追分市民の森、柏町市民の森、上川井市民の森、南本宿市民の森、矢指市民の森、市沢ふれあいの樹林、白根ふれあいの樹林、鶴ヶ峰ふれあいの樹林、猪子山緑地、今宿第二緑地、上白根南の森、笹野台緑地、笹野台三丁目緑地、二俣川ニュータウン緑地、若葉台一丁目緑地、若葉台四丁目緑地

2023年度 28 か所 猪子山特別緑地保全地区、上川井町堂谷特別緑地保全地区、上川井町中田谷特別緑地保全地区、上川井町堀谷特別緑地保全地区、上白

根町後谷特別緑地保全地区、上白根町小池特別緑地保全地区、川井本町特別緑地保全地区、川島町二ノ沢特別緑地保全地区、下川井町特別緑地保全地区、善部町特別緑地保全地区、中沢二丁目特別緑地保全地区、市沢市民の森、今宿市民の森、追分市民の森、柏町市民の森、上川井市民の森、南本宿市民の森、矢指市民の森、市沢ふれあいの樹林、白根ふれあいの樹林、鶴ヶ峰ふれあいの樹林、猪子山緑地、今宿第二緑地、笹野台緑地、笹野台三丁目緑地、二俣川ニュータウン緑地、若葉台一丁目緑地、若葉台四丁目緑地

・維持管理（公園）

| | | |
|--------|-----|---|
| 2019年度 | 5か所 | 大貫谷公園、こども自然公園、四季美台ふれあい公園、桧山公園、若葉台公園 |
| 2020年度 | 5か所 | 大貫谷公園、こども自然公園、四季美台ふれあい公園、桧山公園、若葉台公園 |
| 2021年度 | 5か所 | 大貫谷公園、こども自然公園、四季美台ふれあい公園、桧山公園、若葉台公園 |
| 2022年度 | 4か所 | 希望が丘水の森公園、こども自然公園、四季美台ふれあい公園、若葉台公園 |
| 2023年度 | 6か所 | 大貫谷公園、希望が丘水の森公園、こども自然公園、四季美台ふれあい公園、桧山公園、若葉台公園 |

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 53件

| | | |
|--------|-----|--|
| 2019年度 | 9件 | 市沢町、今宿西町、今宿南町、上白根町、川島町、桐が作、白根二丁目、善部町（2件） |
| 2020年度 | 11件 | 市沢町、今宿南町（2件）、上川井町、上白根町、川井本町、下川井町（3件）、都岡町、中希望が丘 |
| 2021年度 | 10件 | 市沢町、今川町、上白根町、川井本町、川島町（2件）、白根二丁目、善部町、二俣川一丁目、万騎が原 |
| 2022年度 | 12件 | 今川町、今宿西町、今宿南町（2件）、上川井町、上白根町、川井本町、川島町、桐が作、下川井町、中希望が丘、万騎が原 |
| 2023年度 | 11件 | 今川町、今宿南町、市沢町、上川井町（2件）、上白根町（2件）、川井宿町、下川井町、中沢二丁目、南本宿町 |

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

8 水田の保全

○水田保全面積 0.80ha

| | | |
|--------|--------|----------|
| 2019年度 | 0.79ha | 下川井町、矢指町 |
| 2020年度 | 0.79ha | 下川井町、矢指町 |
| 2021年度 | 0.79ha | 下川井町、矢指町 |
| 2022年度 | 0.79ha | 下川井町、矢指町 |

5 各区の実績
旭区

2023年度 0.80ha 下川井町、矢指町

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 15件

2019年度 2件 市沢町、下川井町

2020年度 1件 下川井町

2022年度 2件 上川井町、下川井町

2023年度 10件 市沢町(2件)、今川町、今宿南町(2件)、下川井町(5件)

10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・集団農地維持 15.1ha

2019年度 21.7ha 西谷農業専用地区協議会(保土ヶ谷区・旭区)、上川井農業専用地区協議会

2020年度 21.3ha 西谷農業専用地区協議会(保土ヶ谷区・旭区)、上川井農業専用地区協議会

2021年度 31.9ha 西谷農業専用地区協議会(保土ヶ谷区・旭区)、上川井農業専用地区協議会、下川井農地整備組合

2022年度 31.6ha 西谷農業専用地区協議会(保土ヶ谷区・旭区)、上川井農業専用地区協議会、下川井農地整備組合

2023年度 15.1ha 西谷農業専用地区協議会(保土ヶ谷区・旭区)、下川井農地整備組合

・農地縁辺部への植栽 5件

2019年度 1件 都岡地区恵みの里運営協議会

2020年度 1件 都岡地区恵みの里運営協議会

2021年度 1件 都岡地区恵みの里運営協議会

2022年度 1件 都岡地区恵みの里運営協議会

2023年度 1件 都岡地区恵みの里運営協議会

・土砂流出防止対策 3件

2020年度 1件 下川井農地整備組合

2023年度 2件 下川井農地整備組合、西谷農業専用地区協議会

○周辺環境に配慮した活動への支援

・牧草等による環境対策 2.10ha

2019年度 1.03ha 今宿南町(2か所)、下川井町、矢指町(2か所)

2020年度 0.65ha 上白根町、川井本町、下川井町(2か所)

2021年度 0.42ha 上白根町、川井本町、下川井町、矢指町

・たい肥化設備等の支援 3件

2020年度 2件 市沢町、下川井町

2023年度 1件 東希望が丘

11 多様な主体による農地の利用促進

○遊休農地の復元支援 0.88ha

2019年度 0.64ha 今宿西町、下川井町（2か所）

2022年度 0.24ha 川島町

12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 1.82ha

・収穫体験農園

2019年度 0.27ha 下川井町

2020年度 0.07ha 今宿西町

2021年度 0.09ha 今宿一丁目、今宿西町

2022年度 0.02ha 今宿一丁目

2023年度 0.06ha 今宿一丁目、下川井町

・市民農園

2020年度 0.66ha 小高町、上白根町、白根町、本村町

2021年度 0.13ha 下川井町、白根町（2か所）

2022年度 0.08ha 善部町

2023年度 0.44ha 今宿西町、中希望が丘

14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 17件

・直売所・加工所

2019年度 1件 市沢町

2020年度 1件 今宿西町

2021年度 2件 市沢町、笹野台一丁目

2022年度 4件 今宿西町、柏町、上川井町（2件）

2023年度 4件 今宿西町、今宿南町、上川井町、東希望が丘

・青空市・マルシェ等

2019年度 1件 横浜農協二俣川直売所

2020年度 1件 横浜農協二俣川直売所

2021年度 1件 横浜農協二俣川直売所

2022年度 1件 横浜農協二俣川直売所

2023年度 1件 横浜農協二俣川直売所

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の創出 4 箇所

2020 年度 3 箇所 旭台中央公園、帷子川親水護岸、ふるさと尾根道緑道

2021 年度 1 箇所 ふるさと尾根道緑道

○緑の維持管理 16 箇所

2019 年度 3 箇所 旭区庁舎、旭土木事務所、旭図書館

2020 年度 3 箇所 旭区庁舎、旭図書館、旭土木事務所

2021 年度 4 箇所 旭区庁舎、旭図書館、旭土木事務所、ふるさと尾根道緑道

2022 年度 3 箇所 旭区庁舎、旭図書館、ふるさと尾根道緑道

2023 年度 3 箇所 旭区庁舎、旭図書館、ふるさと尾根道緑道

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○良好な維持管理

2019 年度 県道丸子中山茅ヶ崎（中原街道）、水道道プロムナードほか
計720本

2020 年度 今宿南郵便局通り、ニュータウン通りほか 計665本

2021 年度 ニュータウン通り、県道丸子中山茅ヶ崎（中原街道）ほか
計535本

2022 年度 今宿南郵便局通り、ニュータウン通りほか 計594本

2023 年度 ニュータウン通り、自然公園通りほか 計506本

20 建築物緑化保全契約の締結

○建築物緑化保全契約の締結 5 件

2019 年度 5 件 川井本町、四季美台、善部町（3件）

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・新規指定

2020 年度 7 本 川井宿町（7本）

2021 年度 2 本 東希望が丘（2本）

・維持管理の助成

2019 年度 1 本 下川井町

2020 年度 8 本 今宿西町（2本）、上川井町、白根六丁目（3本）、本宿町（2本）

2021 年度 8 本 今川町、川井宿町（3本）、下川井町（3本）、本宿町

2022 年度 3 本 川井本町（3本）

2023 年度 3 本 市沢町、東希望が丘（2本）

22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 3 地区

・新規

2019 年度 1 地区 若葉台もみじ自治会周辺地区

2021 年度 1 地区 白根二丁目地区

2023 年度 1 地区 左近山地区

・継続

2020 年度 1 地区 若葉台もみじ自治会周辺地区

2021 年度 1 地区 若葉台もみじ自治会周辺地区

2022 年度 2 地区 白根二丁目地区、若葉台もみじ自治会周辺地区、

2023 年度 1 地区 白根二丁目地区

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019 年度 里山ガーデンでのあさひくん花壇づくり

2020 年度 区民利用施設（13か所）における花壇整備、区内公園の花壇整備及び花苗支援

2021 年度 区内公園における花壇・プランターの設置

2022 年度 笹野台北公園・大原西公園における花壇の植栽、区民まつりににおける花苗の配布

2023 年度 旭オープンガーデンの開催、さちが丘蔵屋敷公園・鶴ヶ峰公園・善部町公園・梶谷公園・笹野台第二公園・中希望が丘第五公園における花壇の植栽、区民まつりににおける花苗の配布

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019 年度 花苗などの配布（鶴ヶ峰公園ほか 13 か所）

2020 年度 球根などの配布（二俣川二丁目第三公園ほか 38 か所）

2021 年度 球根などの配布（旭台中央公園ほか 93 か所）

2022 年度 球根などの配布（旭台中央公園ほか 85 か所）

2023 年度 球根などの配布（旭台中央公園ほか 90 か所）

24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 2,156 本

2019 年度 444 本

2020 年度 471 本

2021 年度 535 本

2022 年度 355 本

2023 年度 351 本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 16 箇所

2019 年度 3 箇所 鶴ヶ峯幼稚園、柏保育園、中沢小学校

2020 年度 3 箇所 笹野台小学校、白根小学校、万騎が原中学校

2021 年度 2 箇所 柏保育園、不動丸小学校

2023 年度 8 箇所 上白根小学校、川井小学校、笹野台小学校、都岡小学校、東希望が丘小学校、若葉台小学校、南希望が丘中学校、若葉台特別支援学校

○緑の維持管理 80 箇所

2019 年度 17 箇所 柏保育園、左近山保育園、市沢小学校、今宿小学校、今宿南小学校、上白根小学校、川井小学校、希望ヶ丘小学校、さちが丘小学校、善部小学校、鶴ヶ峯小学校、東希望が丘小学校、二俣川小学校、南本宿小学校、旭中学校、上白根中学校、南希望が丘中学校

2020 年度 13 箇所 柏保育園、左近山保育園、鶴ヶ峯幼稚園、今宿小学校、今宿南小学校、希望ヶ丘小学校、さちが丘小学校、善部小学校、鶴ヶ峯小学校、東希望が丘小学校、不動丸小学校、南本宿小学校、南希望が丘中学校

2021 年度 16 箇所 柏保育園、左近山保育園、中希望が丘保育園、鶴ヶ峯幼稚園、今宿小学校、今宿南小学校、上白根小学校、川井小学校、希望ヶ丘小学校、さちが丘小学校、善部小学校、鶴ヶ峯小学校、東希望が丘小学校、不動丸小学校、南本宿小学校、南希望が丘中学校

2022 年度 21 箇所 柏保育園、左近山保育園、中希望が丘保育園、今宿小学校、今宿南小学校、上白根小学校、川井小学校、希望ヶ丘小学校、笹野台小学校、さちが丘小学校、善部小学校、都岡小学校、鶴ヶ峯小学校、中沢小学校、東希望が丘小学校、不動丸小学校、本宿小学校、万騎が原小学校、南本宿小学校、上白根中学校、南希望が丘中学校

2023 年度 13 箇所 柏保育園、左近山保育園、若葉台こども園、今宿小学校、希望ヶ丘小学校、さちが丘小学校、鶴ヶ峯小学校、不動丸小学校、南本宿小学校、万騎が原小学校、旭中学校、都岡中学校、本宿中学校

26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

○緑花による空間づくりと維持管理 9 箇所

2019 年度 2 箇所 こども自然公園、里山ガーデン

2020 年度 2 箇所 こども自然公園、里山ガーデン

2021 年度 2 箇所 こども自然公園、里山ガーデン

2022 年度 2 箇所 こども自然公園、里山ガーデン

2023 年度 1 箇所 里山ガーデン



1 緑地保全制度による新規指定
(さちが丘特別緑地保全地区)



1 緑地保全制度による新規指定
(追分市民の森)



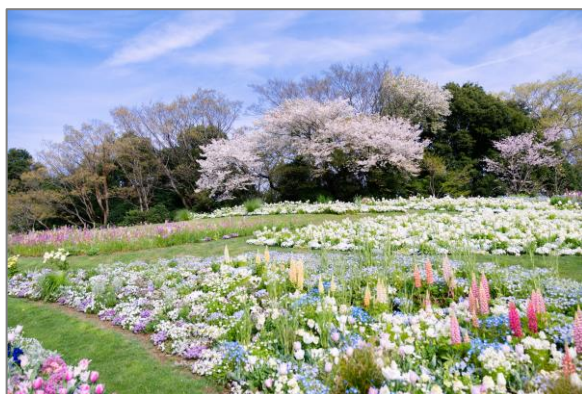
8 水田の保全
(矢指町)



12 収穫体験農園の開設
(今宿一丁目)



17 公共施設・公有地での緑の創出・育成
(ふるさと尾根道緑道)



26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり
(里山ガーデン)